

要申込

料金：500円 (1ドリンク料金)

地球環境問題を考える時、むずかしい顔をしていませんか？眉間にしわを寄せていませんか？地球環境問題の根っちは、人と自然の関わりの中にあります。自然の中ではとても小さな生き物たちも、大きく変わる自然環境の中で強く生き、そして農業などわたしたちの営みに大きな貢献をしてくれているのです。

地球全体の生態系のひとつとして小さな生き物を取り巻く環境と、わたしたちの暮らしについて考えてみたいと思います。

3/1
FRI

第1回 モノの流れの地図から見た生き物の暮らし
—クモとシカをめぐる生態学

講師 原口 岳

地球研外来研究員 / 日本学術振興会特別研究員

ナレッジキャピタル超学校

地 球 研

×

ナレッジキャピタル

小 さ な
生 き 物 と
暮 ら し の
生 態 学

3/13
WED

第2回 ミツバチと共に未来を作る

講師 スピーゲルバーグ マキシミアン

地球研 研究員

ルプレヒト クリストフ

地球研上級研究員

真貝 理香

地球研 外来研究員

3/20
WED

第3回 アカガエルにほめられる！？
—農家が楽しむ生態系保全活動

講師 浅野 悟史

地球研栄養循環プロジェクト共同研究員

会場

CAFE Lab.

グランフロント大阪北館
ナレッジキャピタル1F

3/1
FRI

第1回

モノの流れの地図から見た生き物の暮らし —クモとシカをめぐる生態学

森の中では、木々の光合成が太陽のエネルギーを有機物の形で取り込むことから始まるエネルギーや物質の流れがあり、それによって他の生物が生かされています。このような、個々の生き物の生き方や、生態系の中での役割を理解するために、環境中の同位体比の測定結果を用いて、生命・生物多様性を維持する「モノの流れ」を可視化する方法が用いられてきました。今回は、森に住むクモとシカをめぐる私達の研究を例に、モノの流れから生態系の全体像をながめることで見えてくる、人間と、身近な生き物の関係について考えます。



講師 原口 岳 総合地球環境学研究所 外来研究員 / 日本学術振興会特別研究員

同位体分析などの手法を用いた生態学・環境科学を専門とする。場所・時間・研究対象を問わずに動物を中心として生き物をつつき回した挙げ句、自分の専門を見失った研究者。好きなのは手触りの感じられる器械、とくに自転車をいじること。

コーディネーター 中原 聖乃 総合地球環境学研究所 研究員

文化人類学を専門とし、地球研でオープンチームサイエンスプロジェクトの研究員をつとめる。

3/13
WED

第2回 ミツバチと共に未来を作る

ミツバチは、ハチミツはもちろんのこと、野菜や果実の受粉など、農業面からも私たちを支えてくれている貴重な生物です。ミツバチ減少のニュースが報道される中、実際のミツバチをめぐる現代の社会状況はどのようなもののでしょうか？ 私たちは「ミツバチに優しいまち」は「人間にも住みやすいまち」であるという考えのもと、ミツバチを切り口として、環境問題や街づくりを考え、推進したいと思っています。近年は、市街地での養蜂・都市養蜂も注目されていますが、より身近な存在としてミツバチを知り、と一緒に「ミツバチの目」で社会や未来を考えてみませんか。



講師 スピーゲルバーク マキシミアン 総合地球環境学研究所研究員 ※写真中央

ドイツ出身。環境マネジメントを専門とし、オーガニック・ファーマーズ・マーケット、都市園芸や都市養蜂に関して、学際的・超学際的手法を応用した研究を行なっている。

ルブレヒト クリストフ 総合地球環境学研究所上級研究員 ※写真左

ドイツ出身。都市地理学、都市生態学などを専門とし、京都市街における農地・緑地面積の変化などを調査研究中である。

真貝 理香 総合地球環境学研究所外来研究員 ※写真右

考古学・民族学を専門とし、現在は山間地域の伝統的食文化・生業の調査にあたる一方、養蜂家へのインタビューを行なっている。

3/20
WED

第3回 アカガエルにほめられる！？—農家が楽しむ生態系保全活動

生物多様性という言葉聞いたことはありますか？特定の生物種ではなく生態系全体、そしてそれらを取りまく環境のつながりを指す言葉です。生物多様性はすべての人間活動に関わっています。しかし、生物多様性の保全を農村部だけに頼っているだけでは長続きしないかもしれません。誰かに「叱られる」からではなく、生き物に褒められるから、楽しいから、頑張れるという視点で、農家が楽しみながら保全活動を行い、気がつけば生物多様性が高くなっていく、そんな田んぼの保全活動と生き物のお話を紹介します。



講師 浅野 悟史 総合地球環境学研究所 栄養循環プロジェクト共同研究員

地域計画学、環境農学、生態学を専門とし、「人間が使うことで維持されてきた環境の変化と再生」をテーマに、環境再生活動を無理なく現代の社会に落とし込み継続していく方策について多角的に研究している。

コーディネーター 中原 聖乃 総合地球環境学研究所 研究員

時間

各回 19:00~20:30 開場 18:30

料金

500円 (1ドリンク料金)

会場

グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル1F
CAFE Lab. 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪内

お問い合わせ

一般社団法人ナレッジキャピタル
TEL: 06-6372-6427

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所 広報室
TEL: 075-707-2128

お申し込み

ホームページより
お申し込み下さい
<http://kc-i.jp/>



先着順・各回定員 50名

※お電話でのお申し込みはできません。